

いまこそ、TKCモニタリング情報サービスの実践が 金融機関・信用保証協会からの評価を高めます！

富山県信用保証協会 会長の浜田満広様と、TKC北陸会副会長の堺義洋会員、富山県支部支部長の筏井陽子会員によるトップ対談を実施しました。当日は、企業支援とTKCモニタリング情報サービスについて、活発な情報交換が行われました。



令和6年4月2日(火)13時00分～14時30分
於：税理士法人リタパートナーズ

富山県信用保証協会
会長 浜田 満広 様

TKC北陸会富山県支部
堺 義洋 副会長
筏井 陽子 富山県支部支部長

「可能な範囲で企業の取り組みや経営に対する姿勢を情報共有していただきたい」

(1) TKCモニタリング情報サービス(MIS)について

浜田満広様より、業務フローを通じて、MISの更なる活用を保証協会内でも実施していきたいとのことでした。堺副会長より、「以前は月次試算表提供サービスによる月次試算表の提出頻度(毎月、四半期、半期)が不透明でありました。特に再生支援案件におかれましては、四半期ごとに月次試算表を提出する形で良いでしょうか?」との確認事項があり、再生案件につきましては四半期ごとの提出で問題が無い旨の回答がございました。

また、今回4月の組織改編(詳細は(2)を参照)に伴い、現在の体制におきましては、月次試算表提供サービスは経営支援室が主に確認しており、決算書提供サービスは主に保証推進部が確認をし、最終的には双方に情報を共有をしているとのことでした。

(2) 富山県信用保証協会の組織改編について

・変更前
企業支援部
(保証課、保証業務課、創業・経営支援課)



・変更後(令和6年4月1日より)
保証推進部 部署名の変更
(保証課、保証業務課) 部署名の変更
経営支援室 部署名の変更・新部署の設立
(創業支援課、経営サポート課)

(3) 合意事項

浜田満広様より、「顧客との接点(月次巡回監査を実施)が強いTKC会員の先生とお互い、積極的に情報を交換することにより、富山県信用保証協会としても、伴走支援型の経営支援を強めたいと考えております。富山県内の中小企業を支えていく想いは、TKC会員の皆様一緒だと思います。つきましては、定例協議会を設け、定期的に情報交換を開催することにより、今後は強く連携していきたい」との意向がございました。堺副会長、筏井支部長も定例協議会に賛同しており、TKC北陸会富山県支部中小企業支援委員会も含めて選抜メンバーを決定し、定例協議会を開催するように段取りいたします。

富山県信用保証協会・TKC会員で情報交換を密にし、地域企業と一緒に支えていくことを約束し面談は終了しました。



富山県信用保証協会とTKC北陸会は平成30年8月に「中小企業・小規模事業者の持続的成長支援に関する覚書」を取り交わしております。

富山県信用保証協会へのMIS利用状況(令和6年3月末時点)

1)月次試算表提供サービス：41件
(内 半期15件・四半期17件)

2)決算書等提供サービス：175件

中小企業の支援に向けて積極的にMISをすすめましょう！

作成：TKC富山SCGサービスセンター